

福島原発行動隊 活動資料

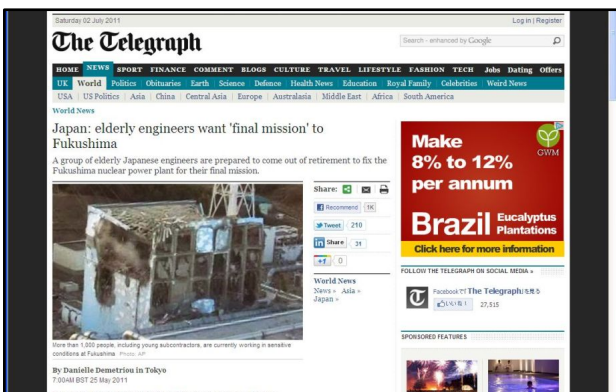
活動の進展とマスコミの主な反応

< 活動の進展 >

- 3月11日 東日本大震災発生
- 4月6日 呼びかけ開始
メール 500 通および郵送 2,000 通。
- 4月23日 行動隊 31 人/賛同・応援者 126 人
- 5月23日 西新橋に事務所を開設。
- 5月30日 行動隊 238 人/賛同・応援者 959 人、
カンパ 2,476,820 円
- 6月30日 行動隊 406 人/賛同・応援者 1,268 人、
カンパ 5,085,352 円
- 6月30日 「一般社団法人福島原発行動隊」として
の設立総会開催。

< 海外メディアの主な報道 >

- 5月11日 『Phenix TV』(香港の衛星テレビ)
福島原発行動隊について紹介。初めての海外報道。
- 5月22日頃 『ARB 放送』(ドイツ)
- 5月25日 『France Soir』紙(フランス)
Fukushima : Des ingénieurs retraités se sacrifient pour le Japon
- 5月25日 『The Telegraph』紙(イギリス)
Japan: elderly engineers want 'final mission' to Fukushima



- 5月25日 『Dnes』紙(チェコ)
「日本の退役者たちは、若者の健康と繁殖力を守るために福島への協力を申し出ている。」
- 5月25日 AFP 通信が配信
Japan retired nuclear workers ready for duty

5月25日 『ARD テレビ』(ドイツ)
彼らは福島第一原発の事故に立ち向かっていくべく
志願した退役技術者達だ。その多くが白髪混じりで
あり、全員が60歳以上という。

5月31日 『BBC ニュース』(アメリカ)
Japan pensioners volunteer to tackle nuclear crisis.
By Roland Buerk

6月2日 『CNN』サイト
原発作業にシニア世代が名乗り 応募者250人。
元エンジニアの山田恭暉(やすてる)さん(72)が立ち
上げた「福島原発暴発阻止行動隊」だ。

6月2日 『The Guardian』紙(イギリス)
Fukushima volunteers are conscious of their
amortality.

6月27日 『New York Times』紙(アメリカ)
Elders Offer Help at Japan's Crippled Reactor



< 国内メディアの主な報道 >

- 4月8日 『奈良新聞』
このユニークな「福島原発暴発阻止行動プロジェクト」の行方を大いに注目したい。
- 4月22日 『週刊金曜日』
500 通のメール、2000 通の封書で呼びかけを始め、
すでに 25 人が参加を表明した。この覚悟を東電と政府
はどう受け止めるのか。
- 4月25日 Web ニュースサイト『J-CAST』
72 歳になるエンジニアが、福島第一原子力発電所の
暴発を阻止しようと立ち上がった。約 2 週間で米国や
フランス、ドイツ、そして原発事故から 25 年経った
チェルノブイリへも広がっている。

4月29日『スポーツ報知』

60歳以上「復旧ボランティア」志願。高濃度汚染の現場を「覚悟」。最高齢は78歳、政府を動かす。

5月3日『YUCASEE MEDIA』(インターネット)

国難を見かねて、現役を引退したシニアの元エンジニアたちが「福島原発暴発阻止行動プロジェクト」を立ち上げた。

5月6日 テレビ朝日『モーニングバード』

5月10日 『東京スポーツ』

5月22日 『サンデー毎日』サンデー時評

5月25日 『毎日新聞』

特集ワイド:福島原発 若者にリスク負わせられぬ - われら、暴発阻止行動隊!

5月26日 『たね蒔きジャーナル』毎日放送ラジオ

6月11日 BS日テレ『よい国のニュース』

特集「原発事故の復旧作業」山田代表をはじめとする行動隊志願者のインタビューを放映。

6月17日 民主党機関紙『民主』

牧山ひろえ参議院議員が福島原発行動隊を支援していることを報道。

6月19日 テレビ朝日『サンデーフロントライン』

参議院院内集会などの模様も含めて、行動隊の動きを詳細にレポート。

6月20日 『アエラ』6月20日号

収束のメドが立たない福島第一原発での作業を買って出た高齢者たちに、政府も応じるというのだ。

6月23日 金融情報サイト『bloomberg』

山田さんのもとには20日時点ですでに369人の志願者が集まっている。元プラント技術者や元大学教授らシニア世代5人が7月初めにも福島第一原発に足を踏み入れ、行動隊を本格的に送り込むための事前調査を実施する。

6月27日 『ピラニアTVちゃんねる』

「福島原発行動隊 山田恭暉 インタビュー『何故私は行動するのか』」

http://www.nicovideo.jp/watch/1309157178

6月28日 『中日新聞』

「シニア行動隊 399人志願 福島原発復旧、来月現地調査へ」

6月30日 『asahi.com』(朝日新聞社)

「福島原発行動隊、始動へ = 収束作業で現場視察 リタイア組400人志願」

6月30日 『時事ドットコム』

「福島原発行動隊、始動へ = 収束作業で現場視察 - リタイア組400人志願」

7月1日 政府・東電合同記者会見

細野大臣が行動隊に関する質疑で、「全体としては前向きに思っている」「マッチングのうまくいった方には現場に入らせていただくことを検討している」「そういうお気持ちをしっかり受け止められる体制をつくりたいと思っている」「確認したい」と発言。
http://bouhatsusoshi.jp/archives/589

< ビデオサイトの配信 >

4月13日 ビデオサイト『USTREAM』配信

山田恭暉の呼びかけ。

http://www.ustream.tv/recorded/13965655

5月6日 ビデオサイト『USTREAM』配信

福島原発行動隊について山田恭暉インタビュー。

http://www.ustream.tv/recorded/14516552

5月8日 ビデオサイト『USTREAM』配信

細野豪志総理大臣補佐官が、記者からの質問に対して、「複数の方からこのプロジェクトについては聞いている。どう対応するか検討中」との返答。

5月13日 ビデオサイト『USTREAM』配信

福島原発行動隊賛同者インタビュー。

http://www.ustream.tv/recorded/14669987

< 牧山ひろえ議員主催 院内集会 >

第1回 5月24日 参加者数: 80人

http://www.ustream.tv/recorded/14921961

第2回 5月25日 参加者数: 80人

http://iwakamiyasumi.com/archives/9924

第3回 5月26日 参加者数: 80人

http://www.ustream.tv/recorded/14962132

第4回 6月17日 参加者数: 90人

http://www.ustream.tv/recorded/15409514

第5回 6月30日 参加者数: 150人

http://www.ustream.tv/recorded/15704929

